

中国地方「初」となる内視鏡手術ロボット 「ダヴィンチSi」導入

本院では、2010年10月より手術支援ロボットダヴィンチSを全国に先駆けて導入、2011年2月には低侵襲外科センターという横断的組織を設立し、病院全体として先進医療の全国並びに地域への普及に努めてきました。2013年3月に最新鋭の内視鏡手術ロボット「ダヴィンチSi」を中国地方では初めて導入いたしました。「ダヴィンチSi」の最大の特徴は、コンソール(コントロールブース)が2つあり、2人での操作が可能となったことです。医師の技量向上はもちろんのこと、若手医師や研修医への教育の力を入れることにより、低侵襲性、機能温存、いずれをも兼ね備えた手術の質向上を図り、より良い医療の提供に貢献します。

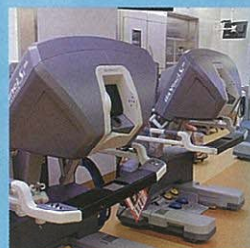


平成25年4月より新たに泌尿器科教授 武中篤が
低侵襲外科センター長に就任いたしました。

低侵襲外科センター長 武中 篤

当センターは、外科系診療科が協力して内視鏡下手術やロボット支援手術などの技術レベル向上を図り、外科医のトレーニングシステムや新しい手術手技および手術機器の開発などを行なうことを目的としています。外科系各診療科の壁を超えて低侵襲手術の技術向上と教育をはかっており、全体の技量向上に一元となって取り組んでおります。本センターが中心となり、患者の皆さまのQOL(生活の質)を重視した心身への負担が少ない低侵襲性治療を積極的に推進し、地域の皆さまに信頼していただけるよう努めてまいります。

ダヴィンチSiの主な特徴



- 3次元ハイビジョンにおける解像度がアップし、さらに視野が拡大し細部まで詳細に表示
- 2人で同時にロボット手術を行うことが可能(Dual Console仕様)
- より多くの手術機器(鉗子など)がロボット手術で使用可能

ロボット手術 お問い合わせ先	電話番号
泌尿器科 外来受付	TEL0859-38-6602
女性診療科 外来受付	TEL0859-38-6642
消化器外科 外来受付	TEL0859-38-6562
胸部外科 外来受付	TEL0859-38-6732
耳鼻咽喉科 外来受付	TEL0859-38-6622

用語説明 ●手術支援ロボット「ダヴィンチ手術」とは/ダヴィンチS、Siという医療用ロボットを使った手術です。内視鏡下手術によって、患者様の負担を大幅に減らすことができます。●コンソール/医師が鉗子を操作する機械。3次元立体画像を見ながら両手で操作します。

トータルな診療体制が整った乳がん治療



鳥取大学医学部 器官制御外科学講座
胸部外科学分野

教授 中村 廣繁

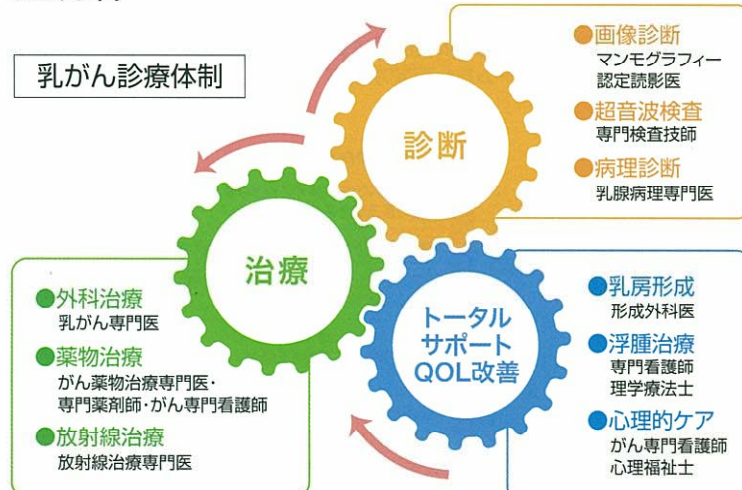
平成25年4月、鳥取大学医学部に器官制御外科学講座胸部外科学分野が新設されました。新講座では呼吸器外科を主とした胸部外科と乳腺・内分泌外科を担当することになります。皆さま何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、乳がんですが、皆さまよくご存じのとおり、これまで大黒柱として石黒清介准教授/乳腺内分泌外科科長が獅子奮迅の働きで当院の乳がん診療を支えてきました。乳がんの手術件数は増加の一途で平成24年には年間99件の手術を行っています。これは過去10年で約3倍に増加したことになります。私自身、久々に一緒に仕事をするようになって痛切に感じることは近年の目覚ましい治療進歩です。現在では乳がんの悪性度の評価が確立し、その特徴に応じた個別化治療が行われています。特に、遺伝子診断は乳がん診療に大きな影響を与えるようになり、先頃報道された米女優アンジェリーナ・ジョリーさんが乳がんのリスクを高めるBRCA1遺伝子の変異が見つかったとして、予防のため両乳房の切除手術を受けたニュースは大きな衝撃でした。乳がんは罹患率の増加により、女性の約16人に1人が乳がんになる時代となっています。当然ながら乳がんへの関心は極めて高く、私たちは大学病院としてその使命に応えるよう診療体制を整備しなければなりません。右図をご覧ください。

乳がんはチーム医療が重要と言われ、高い専門性を有する医療スタッフが緊密に連携して診療にあたるのが大切です。幸いにも鳥取大学にはこれらすべてがそろっていると言っても過言ではなく、この度の器官制御外科学講座胸部外科学分野の誕生によって、今まで以上に有機的に機能できるようになると考えています。

鳥取県はがん死亡率の高い県であり、乳がんも例外ではありません。乳がんでは特に若い30~50歳代の死亡率が他都道府県より高く、これは極めて憂慮すべき事態です。私たちはこの難題を大学病院あげて克服できるように強いリーダーシップをとれる講座でありたいと思っています。情報発信を積極的に行い、安全で透明度の高い、皆さまに安心していただける乳がん診療を提供していきますので、どうか忌憚のないご意見をお寄せ下さい。何卒よろしくお願い申し上げます。

乳がん診療体制



お問い合わせ 乳腺内分泌外科 外来 TEL.0859-38-6732

もっと良くとりだい病院リノベーション

生理機能検査室

Renewal

リニューアル

検査室
入口



入り口が広くなり、ベッドも入りやすくなりました。

生理機能検査室改修工事中は、検査室移動など、患者様のご協力に感謝いたします。

生理機能検査室では、患者様に安心して検査を受けていただき、満足感を感じていただく高品質の生理機能検査の提供をスタッフ一同目指しております。

新しい検査室とともに最新の技能をもつ検査技師が検査を担当いたします。 検査部 臨床検査技師長 原文子

待合室



改修後

待合スペースを拡大
明るくゆったりとした
空間に変わりました

多目的
トイレ

多目的トイレも新設し、車いすの方や体の不自由な方でも利用していただけるようバリアフリー構造になりました。



室名

案内板



案内板もリニューアルし、大きく見やすくなりました。また各部屋の室名も、番号や色分けすることでわかりやすくなりました。

超音波
室



超音波室は電動式ベッドを導入し、患者さんが安全で快適に検査を受けていただけます。



薬剤師に
聞く!

第1回

健康食品の利用を 考えている患者さまへ

最近の健康志向に伴い、健康食品やサプリメントを利用している患者さまが増えています。有名人が言っているから、天然だから、トクホだから安心?いいえ、注意が必要です。治療中の方が薬と一緒に使うことで病気が早く治るどころか薬の効果が弱くなったり、副作用が強くなったりすることがあります。病気の症状が悪化することもあります。本院では、栄養情報担当者・サプリメントアドバイザーの薬剤師2名が入院患者さんの健康食品に関する相談や薬との飲み合わせなどチェックしています。健康食品を利用するときは必ず医師、薬剤師に相談しましょう。

次号から3回にわたって、良く使われている健康食品を安心して利用するためのポイントをご紹介します。(薬剤部)

病気の治療中に注意したい

健康食品の利用

図1:入院患者における健康食品の利用状況
対象:2011年4月から6月に本院に入院した患者928名

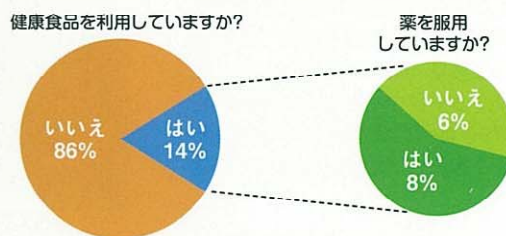


図2:薬剤師が発見した健康食品による不利益
対象:2012年10月から2013年2月に健康食品を利用していた本院の入院患者193名



健康食品を利用していた患者の約6人に1人で何らかの不利益が考えられた

第18回

NHKハート展

本院では、「NHKハート展」※1を開催いたします。本院で開催のハート展は「心をつなぐ鳥大病院」をテーマに、地域に開かれた病院作りの一環として開催します。皆様ぜひご来場下さい。

全国「初」
病院での
開催



真ん中
真ん中にいたい
誰かと誰かの真ん中に
支え合って 寄り添って
ひとのぬくもり 感じながら
真ん中にいたい

詩:加藤養子(東京都26歳/肢体不自由)
アート作品:玉井詩織(ももいろクローバーZ) タレント/週末ヒロイン

日時 平成25年 7月20日(土)~8月3日(土)
9:00~17:00 (休館日なし)

場所 鳥取大学医学部附属病院
外来1階ロビー

入場料無料

※平日の午前中は、駐車場の混雑が予想されますので公共交通機関をご利用下さい。

※1「NHKハート展」は、障がいのある方がつづった詩に託された思いを、各界の著名人やアーティストがハートをモチーフにアート作品で表現した、詩とアートを組み合わせた展覧会です。

お問い合わせ先(広報係) TEL:0859-38-7037

認知症予防の食事

今回から4回にわたって認知症予防に効果的な食事を1品ずつご紹介します。第1回目となる今回はボリュームたっぷりの丼です。

うな玉丼

〈材料〉 一人分

- ご飯 150g
- うなぎの蒲焼 30g
- 鶏卵 1個
- オリーブオイル 少々
- ベビーリーフ 20g
- トマト 30g
- 白ごま お好みで

作り方

- 1 水でといだ精白米を炊飯器で炊く。
- 2 フライパンにオリーブオイルをひき、半熟の目玉焼きを作る。
- 3 うなぎの蒲焼をオーブントースターで軽く焼く。
- 4 半分に切ったブチトマトとベビーリーフをフライパンで軽く炒める。
- 5 丼にご飯を入れ、炒めたベビーリーフとブチトマト、うなぎの蒲焼、目玉焼きを盛り付ける。
- 6 うなぎのタレをかけ、よく炒った白ごまを上から振りかける。



栄養成分

エネルギー 470kcal 脂質 15.1g
たんぱく質 18.1g 塩分 1.2g

認知症予防のための食事のポイントは「抗酸化」です。活性酸素によって身体の細胞が酸化すると、新陳代謝が妨げられ、老化を促してしまいます。活性酸素を抑えるためにも抗酸化物質をとる必要があります。今回ご紹介した丼には抗酸化物質をふんだんに使用しました。栄養価が高いのはもちろんのこと、味も絶品です。とろーり半熟卵がうなぎや野菜と絡まってクセになる美味しさです。ぜひお試しください。(栄養管理部)

平成25年度 全職種合同説明会を開催します。

本院への就業にご興味のある方を対象に、病院の様々な職種の職員が一堂に集結し合同説明会を開催します。当日は、各部門別に個別相談ブースを設け、実際に働いている職員の話を聞くことが出来るコーナーや、病院内の様々な施設見学を予定しています。ぜひ、お気軽にご参加下さい。

日時 平成25年 7月13日(土)
13:00~16:00

場所 鳥取大学医学部附属病院 外来

プログラム 13:00~ 全体説明
13:30~ 各部門の個別相談及び施設見学

お問い合わせ 総務課人事係 TEL.0859-38-7046

